2026年10月28日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

ＪＡグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当会では、「地域の皆様と共に郷土の未来を拓きます。」の経営理念のもと、２０１７年に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、当会はもとより県内ＪＡの利用者のみなさまの安定的な資産形成に貢献するため取組方針を公表・実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

なお、新たなお取引についてはお客さまのお住まいや、利便性を重視したＪＡへご案内することを前提としており、当会では県内ＪＡでのお客さま本位の業務運営の実現に向けたサポートを行ってまいります。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通ＫＰＩ」）も同時に公表いたします。

佐賀県信用農業協同組合連合会

Ⅰ.取組状況

1　お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

（1）信用の事業活動

【原則２本文および（注）、原則３（注）原則６本文および（注２、３、６、７）補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の資産運用事業者に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定し、提案させていただきます。また、ＪＡにおいても同様の提案ができるようサポートしてまいります。なお、当会は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより商品数が増減いたします。
- なお、お客さまの最善の利益を実現するため、ＪＡバンク全体として2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社に販売状況等の情報を提供するなど情報連携を開始する予定です。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2026年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：１）	6 （前年度末：６）
株式型	3 （前年度末：３）	6 （前年度末：５）
REIT型	2 （前年度末：２）	2 （前年度末：２）
バランス型	9 （前年度末：７）	

＜商品選定の考え方＞

お客さまに提供する投資信託商品の選定にあたっては、JA バンクの全国機関である農林中央金庫における以下の基準に則して「JA バンクセレクトファンド」を取扱商品としております。

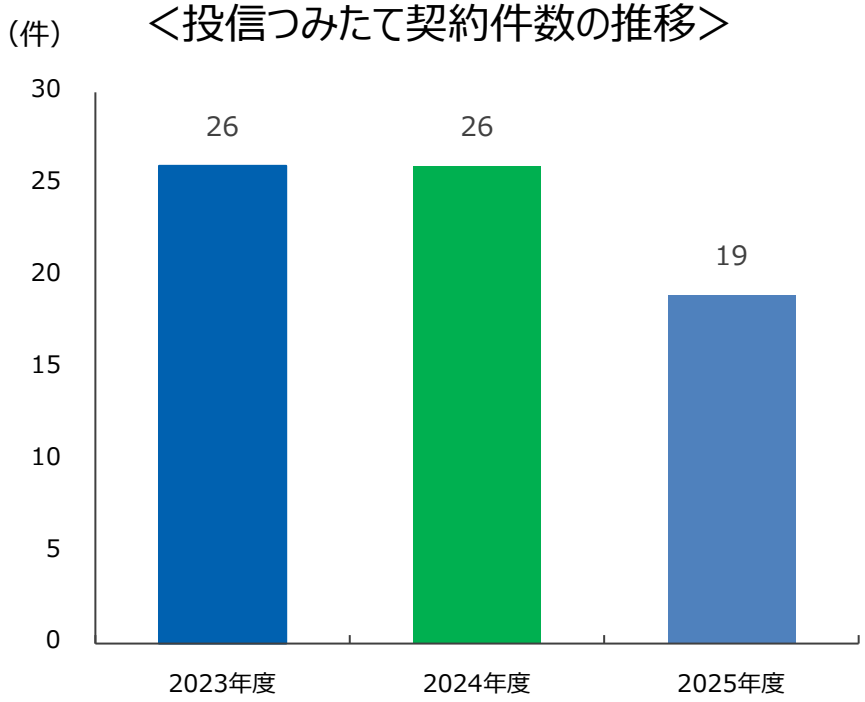
①「長期投資を前提とした商品性」
②「相対的に良好な運用実績」
③「良心的な手数料設定」
④「過去の運用成績の再現可能性」
⑤「過度な分配を追及しない運用方針」

2　お客さま本位の提案と情報提供①
（１）信用の事業活動

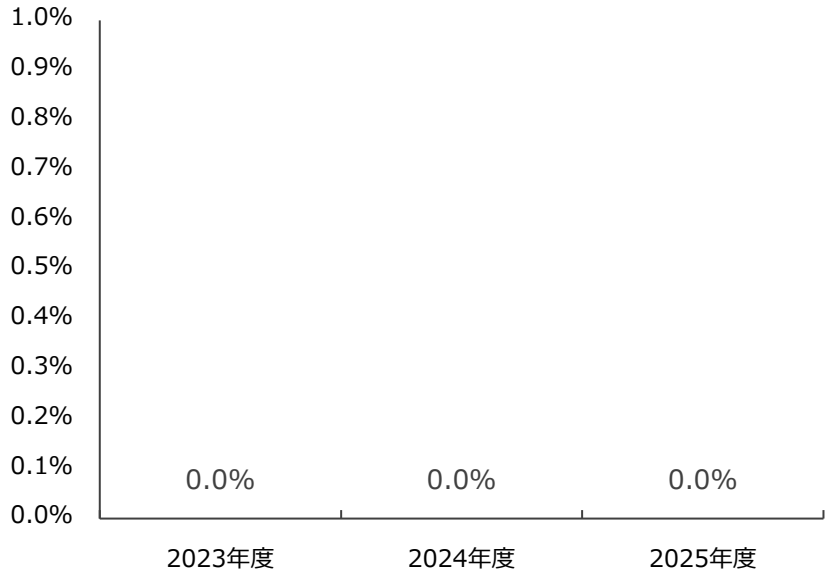
【原則２本文および（注）、原則５本文および(注１～５）、
原則６本文および（注１～７）】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行い、分散投資・長期投資の有用性をご提案しましたが、「投信つみたて」を利用されるお客さまが令和５年度からおおむね横ばいで推移し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまはございませんでした。
- 提案にあたっては、お客さまにふさわしい商品をご提案し、お客さまの属性・適合性を判断したうえで販売いたします。
- 商品のご提案にあたり、お客さまご自身やご家族の状況について詳しくお伺いすることがあります。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



2　お客さま本位の提案と情報提供②
（１）信用の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～７）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項についてご理解いただけるよう分かりやすくご説明することに務め、必要な情報を十分に提供します。
- JAにおいても提供する情報等を常に更新できるよう環境を整えてまいります。
- なお、２０２２年４月から重要情報シートを導入しております。

Ⅰ.取組状況

3　利益相反の適切な管理

【原則３本文および（注）】

- JAバンクでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理できるようサポートしてまいります。

4　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

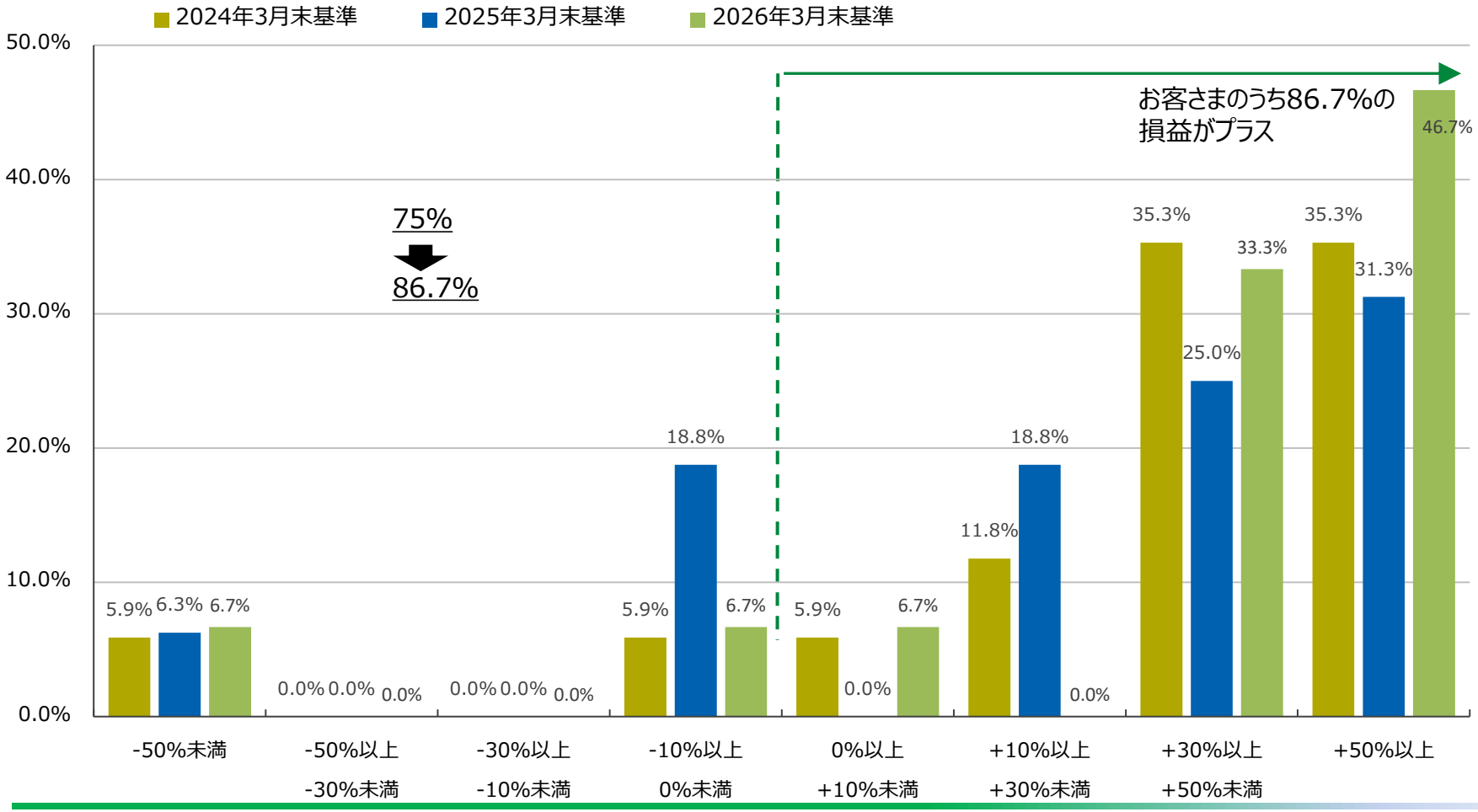
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則７本文および（注）】

・当会においては、県内ＪＡと一体となった研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し、ＪＡにおいても誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための体制を構築します。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

1　運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2026年3月末時点では全体の86.7%のお客さまの損益がプラスとなりました。

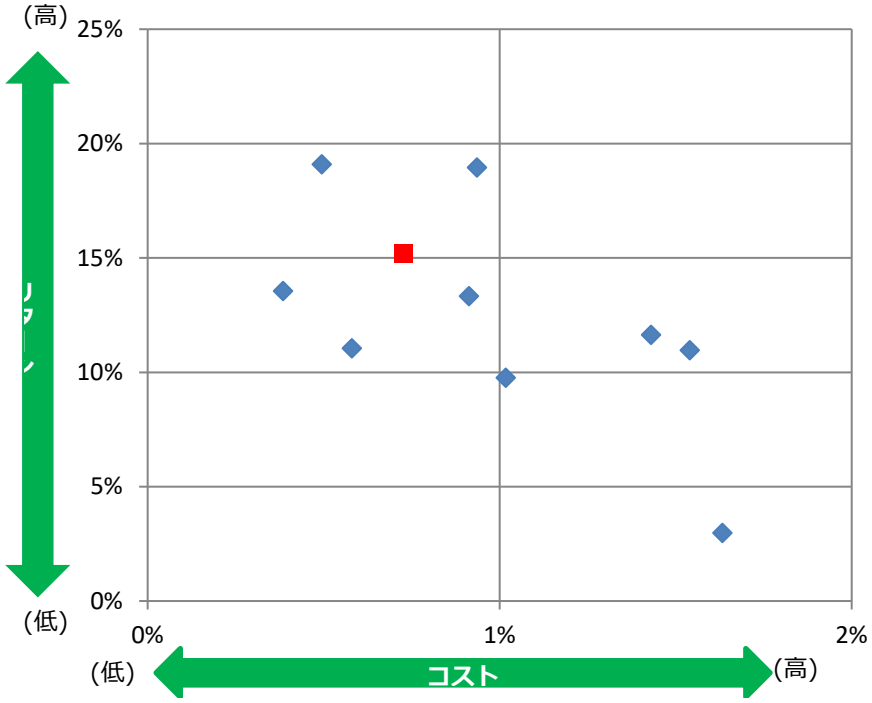


Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

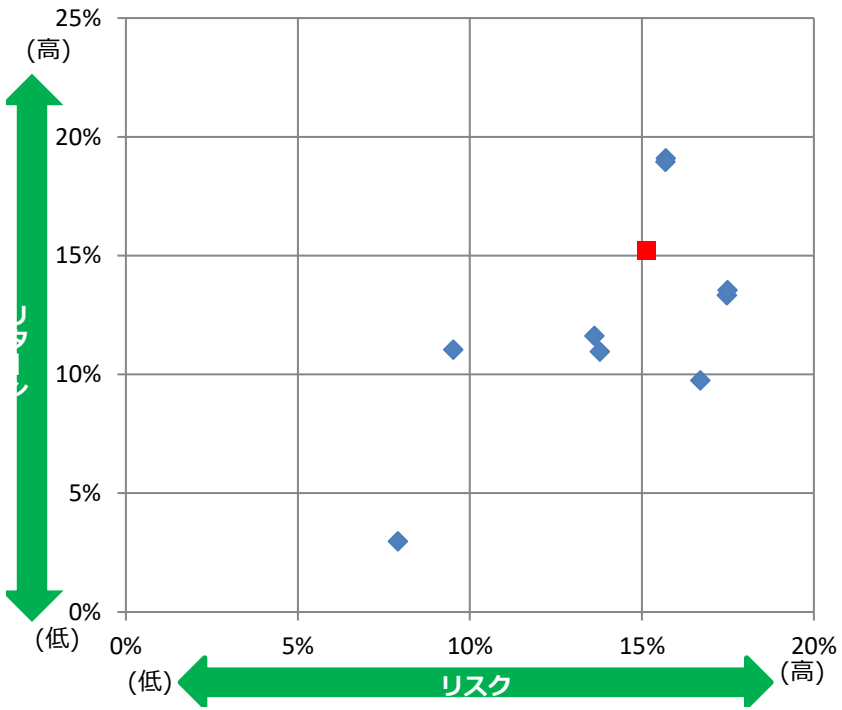
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）　（2026年３月末）

- ＪＡバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.73%、平均リスク15.13%に対して、平均リターンは15.21%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

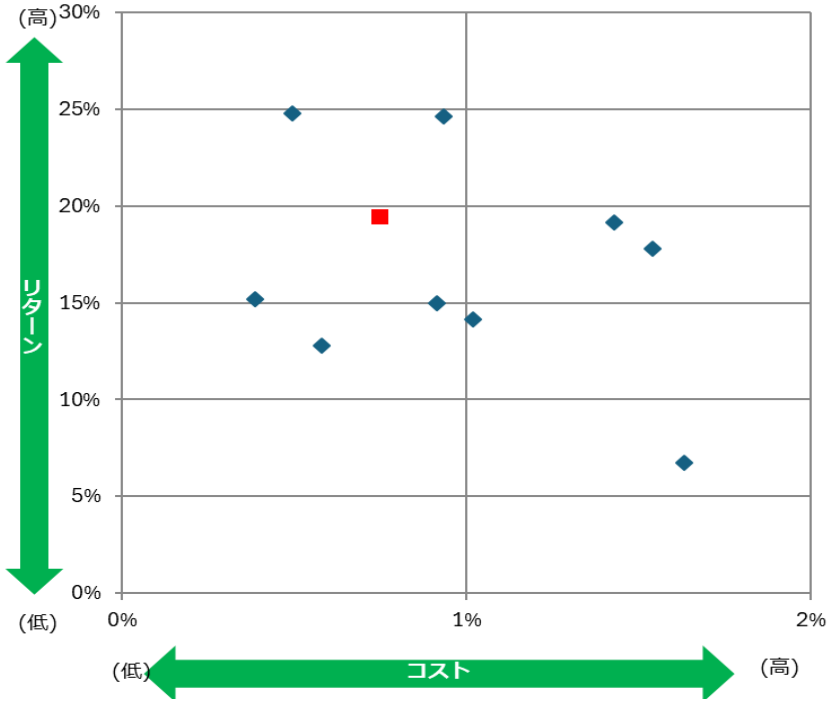


※各ファンドのコスト・リスク・リターンは、１０ページに掲載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

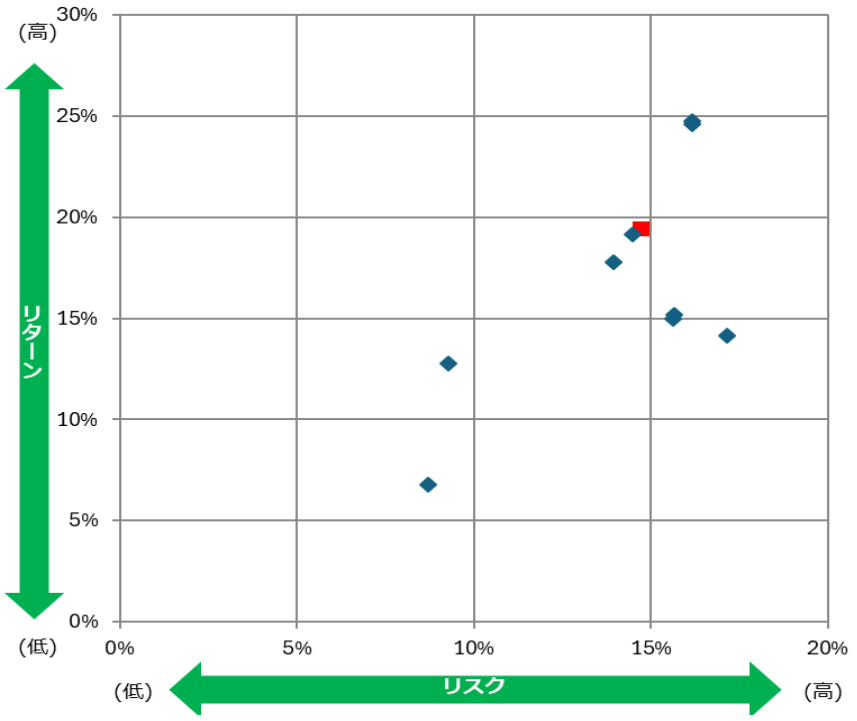
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）　（2025年３月末）

- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.75%、平均リスク14.72%に対して、平均リターンは19.43%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞

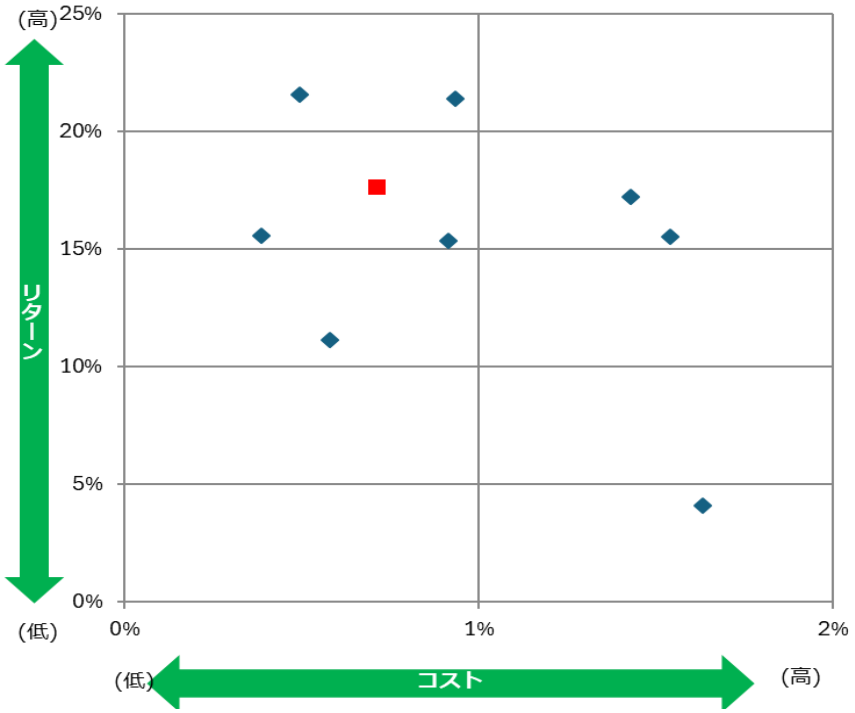


※各ファンドのコスト・リスク・リターンは、１１ページに掲載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

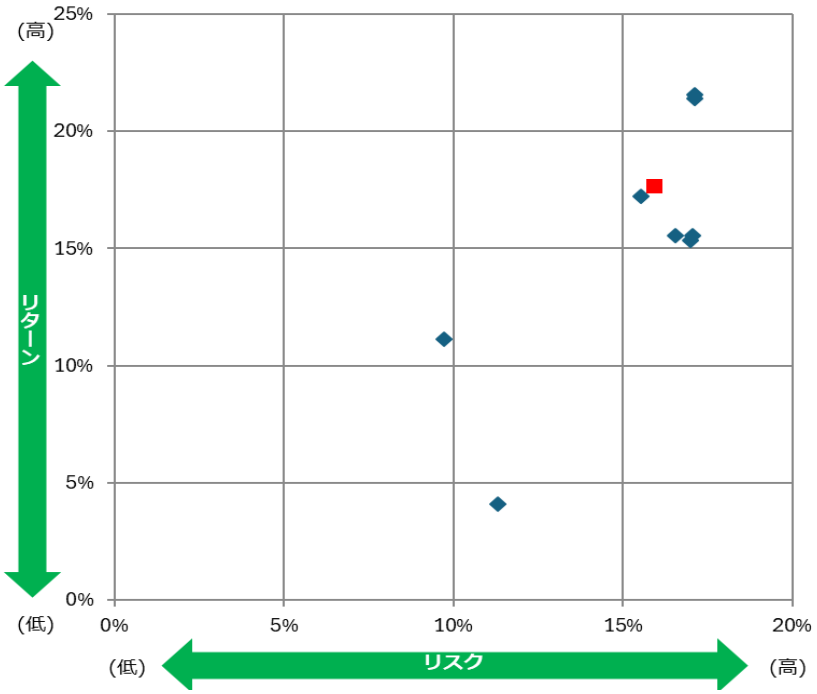
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）　（2024年３月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.71%、平均リスク15.91%に対して、平均リターンは17.65%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※各ファンドのコスト・リスク・リターンは、１２ページに掲載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

3　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2026年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	つみたて米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.09%	15.70%	0.50%
2	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.33%	17.47%	0.91%
3	つみたて日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.54%	17.49%	0.39%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.04%	9.52%	0.58%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	10.96%	13.78%	1.54%
6	米国株式　S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	18.94%	15.69%	0.94%
7	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	11.63%	13.63%	1.43%
8	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）	大和アセットマネジメント（株）	9.75%	16.70%	1.02%
9	HSBC世界資産選抜　育てるｺｰｽ(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント㈱	2.97%	7.91%	1.63%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		15.21%	15.13%	0.73%

※ 2026年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は9本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

3　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2025年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	つみたて米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
2	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
3	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
4	つみたて日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
6	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
7	米国株式　S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
8	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）世界のやどかり	大和アセットマネジメント（株）	14.15%	17.14%	1.02%
9	HSBC世界資産選抜　育てるｺｰｽ(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント㈱	6.76%	8.71%	1.63%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		19.43%	14.72%	0.75%

※ 2025年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は9本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

3　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2024年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	つみたて米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.55%	17.11%	0.50%
2	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.15%	9.72%	0.58%
4	つみたて日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.57%	17.06%	0.39%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	15.53%	16.54%	1.54%
6	米国株式　S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
7	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	17.22%	15.52%	1.43%
8	HSBC世界資産選抜　育てるｺｰｽ(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント㈱	4.09%	11.30%	1.63%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		17.65%	15.91%	0.71%

※ 2024年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は8本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。